



2020年度JICA Innovation Quest 参加者募集要項

JICA Innovation Quest概要

JICA Innovation Quest、略して「ジャイクエ」は、未発掘のアイデアの原石や新しい技術、個人の熱い想いを国際協力の世界と繋ぎ、従来の枠組みにとらわれない新しい国際協力のアイデアを生み出すオープンイノベーションプログラムです。

第2回目となる2020年度JICA Innovation Quest参加者として、JICA職員等と一緒にあって、「誰一人取り残さない社会の実現（社会的包摂：Social Inclusion）」の課題解決のためのアイデア創出に取り組む仲間を募集します。

貧困問題や環境問題といった高度化・複雑化した社会課題を解決し、私たちが住む社会を持続可能なものにするためには、官民間問わず、多様な分野で活躍する人々の力、新しい技術やこれまでにない考え方を結集することが、益々重要になっています。

このような中、これまで国際協力に関わりを持っていなかった人々を含め、多様な人々が出会い、共に考える場を創り、従来の枠組みにとらわれない新しい国際協力・途上国の課題解決のためのアイデアを創りたい。そのような想いのもと、ジャイクエは生まれました。

ジャイクエでは、多様なバックグラウンドを持つ参加者とJICA職員が少人数チームを結成し、2日間でアイディエーション手法を学ぶオンラインキャンプと約3か月間のブラッシュアップ・タームを通じて、開発途上国の課題解決に資するアイデアを創出するプログラムを提供します。

参加者は、JICAが持つ豊富なネットワークを生かし、開発途上国の人から現地での課題について直接インプットを受けることができるほか、慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科（慶應SDM）のファシリテーションのもと、システム×デザイン思考を通じたアイディエーションの機会を得ることができます。

プログラムの終わりに開催されるファイナル・プレゼンテーションでは、チームごとのアイデアに対して、JICA内外の有識者から事業の実現に向けたフィードバックを得る機会も提供します。また、優秀なアイデアを創出したチームに対しては、現地視察の機会が提供される可能性があります。

新しい国際協力事業のアイデアを生み出すプログラムに、わたしたちと一緒に取り組みませんか？開発途上国の課題解決にパッションを持つ方の応募をお待ちしております。

ます。

プログラム日程（予定）

日程	プログラム名	概要	場所
2020/11/28(土) 2020/11/29(日)	オンラインキャンプ	自由でクリエイティブな議論を行うことを目的にチームビルディングを行い、慶應SDMのご協力のもと、開発途上国の課題解決に向けた新しい切り口・アプローチを検討するため、システム×デザイン思考を活用したアイデア創出ワークショップを実施します。	オンライン
2020年12月頃 2021年2月頃	ブラッシュアップ・ターム	週1回程度チームミーティングを行い、アイデアをブラッシュアップする期間です。	主にオンライン（コワーキングスペースの利用調整中）
2020/12/19(土) 2021/2/6(土)	中間フィードバックセッション	中間フィードバックセッションを12月と1月に各1回程度開催し、アイデアの中間発表を行い有識者からの助言を得る機会を提供する予定です（各会2時間～3時間程度）。	オンライン
2021/1/16(土)	中間インプットセッション	外部講師による、アイデア創出や創出されたアイデアの事業化に関連したセミナーを開催する予定です。	オンライン
2021/3/7(日)	ファイナル・プレゼンテーション	アイデアの発表を行い、JICA内外の有識者からフィードバックを得ることができます。優秀なアイデアを発表したチームに対しては、新型コロナウイルスの感染拡大が収束し現地渡航が可能になった場合は、1週間程度の各チームの対象国での現地調査の機会を提	東京都内・オンライン

		供予定です。チームメンバーによる海外への渡航が困難な場合は、代替案として外部委託による現地調査を実施する予定です。	
--	--	---	--

募集人数

20名程度 （※加えて、JICA職員など10名程度が参加します）

参加要件

- ・ 日本語でのコミュニケーションが可能な方に限定します。
- ・ プログラムへの参加の様子（写真・動画含む）や、ファイナル・プレゼンテーションにて発表したアイデアの概要等を、ウェブサイト（SNSを含む）やチラシ、パンフレット等にて無償で一般公開されることにご同意いただけることを要件とします。
- ・ ジャイクエは、すべての日程（オンラインキャンプ、ブラッシュアップ・ターム、中間フィードバックセッション、中間インプットセッション、ファイナル・プレゼンテーション）にご参加頂くことを前提としたオープンイノベーション事業です。一方、いずれかのプログラムへの参加が難しい場合も応募可能とします（但し、選考の際に各プログラムの参加可否を考慮する場合がございます）。
- ・ 全ての日程およびチームミーティングにおいて、オンラインでのミーティングに対応可能な環境（インターネット環境が安定していること、オンラインツールMiro及びZoom等が使用可能なPCを所有していること）が整っていることが必須となります。
- ・ ブラッシュアップ・タームにおけるチームミーティングの日程はチーム毎に調整頂きます。原則、日本国内在住者とチームを組むこととなります。
- ・ 参加者として決定された方には、アイデアの公開、秘密保持、損害に対する責任等にかかる、JICA Innovation Questへの参加に関する誓約書にご署名頂きます。
※ファイナル・プレゼンテーション優勝チームのみ対象となる現地視察への参加要件は「別紙」をご参照ください。

参加にかかる費用

- ・ 原則、ブラッシュアップ・ターム中の活動費及び各プログラム実施場所までの交通費は各自負担いただきます。

応募時の留意点

- ・ ジャイクエでは、多様なバックグラウンドを持つメンバーによって構成されたチームを形成します。このため、同じ所属先から複数名ご応募いただいた場合にも、異なるチームに配属される可能性があります。
- ・ ジャイクエでは、多様なバックグラウンドを持つチームメンバーが、多様な知見やスキル、視点を持ちより、課題の切り口の検討からアイデア創出、ブラッシュアップを行います。このため、対象国においてすでに事業を実施している、もしくは具体的なアイデア・事業案をお持ちの方についても、柔軟にアイディエーションプロセスに貢献頂くことを前提としています。
- ・ 約3カ月間のプログラムにて創出されたアイデアの事業化・具現化については、ファイナル・プレゼンテーション後に、活動を継続することは大歓迎です。
- ・ 応募時点での途上国事業の実施経験や、具体的なアイデア・事業案の有無は問いません。
- ・ JICA は本事業に関してご所属先または関係機関等への協力依頼書や出張依頼書等を発行しません。業務または研修等としての参加を希望される場合は、ご自身で所属先との調整を願います。
- ・ ジャイクエの参加者として決定された場合においても、他の参加者に迷惑をかける、あるいは決められた活動に参加する意思がないと判断される方、また JICA が参加を不適切と判断する方については、本事業実施前、実施中を問わず、参加者としての資格を失うことがあります。

応募方法

- ・ 応募フォームに記入のうえ、JICA Innovation Quest事務局メールアドレス (jiq@jica.go.jp) 宛にメールで送付してください。(件名「ジャイクエ参加応募」)
- ・ 応募締切：2020年10月28日（水）日本時間23時59分まで。

選考方法

- ・ 原則として、書類審査により選考いたします。場合によっては、応募書類記載内容について確認、質問させていただきます。
- ・ 審査結果は 2020年11月16日（月）を目途にお知らせします。

応募にかかる個人情報の利用目的

- ・ JICAが収集した応募者の個人情報は、以下の目的で利用させていただきます。JICAは、ご本人の同意を得ないで、この利用目的の達成に必要な範囲を超えて応募者の個人情報を利用いたしません。

1. JICAがJICA Innovation Questの参加者の選考を行うため。
2. JICAのJICA Innovation Questにかかわる、各種情報（イベントやホームページの案内等）の提供や連絡等を行うため。
3. 応募者についての統計、データ分析を行うため。
4. JICA Innovation Quest終了後、JICA Innovation Quest参加者へプログラム参加後の状況について照会し、この結果を統計データとしてまとめ、将来的なプログラム改善に活かすため。

個人情報の取扱いについて

- ・ 当機構は収集した個人情報を当機構の責任のもとで適切に管理し、JICA Innovation Questの参加に至らなかった場合は、当機構の責任のもとで適切に廃棄致します。この場合、書類の返却は致しておりませんのでご了承ください。

お問い合わせ先

JICA Innovation Questに関するお問い合わせは、下記へご連絡ください。

JICA Innovation Quest事務局：jiq@jica.go.jp

現地調査参加について

対象者

ファイナル・プレゼンテーション優勝チームメンバー

最少催行人員：3名

時期

2021年4月以降

現地視察参加の条件

- ① 帰国後に報告書を提出いただけること。
- ② 帰国報告会にて発表いただけること。
- ③ 海外視察の日程、環境（途上国の気候、衛生、道路）に耐えうる健康状態であること。
- ④ 帰国後、提出いただく報告書や帰国報告会の内容がJICAホームページ等で公開されることを了承いただけること。
- ⑤ 上記の本現地調査の主旨をご理解いただき、主催者の指示に従い、積極的に参画、協調いただけること。

現地調査参加にかかる費用

（JICA負担）（注）JICA旅費規程に基づき支給します。

- ・ 航空賃（一律エコノミークラスとします）
- ・ 外国日当（定額）
- ・ 現地宿泊費（定額）
- ・ 自宅または勤務先から空港までの内国交通費（公共交通機関等の経済路線）
- ・ 旅行雑費（空港使用税等）
- ・ 査証取得手数料
- ・ 海外旅行保険（国際協力共済会¹）加入費
- ・ 予防接種料（JICAが指定する予防接種のみ・上限額あり）
- ・ その他現地調査に係る交通費や入場料、通訳費等

¹ JICAから海外に派遣される方が、労災ではカバーできない海外における病気や怪我をした場合の療養費給付等を行う海外保険のこと。なお、共済会掛金（会員負担部分）は、旅費等の支給時に自動的に控除されます。

(参加者負担)

- ・ パスポート取得費用（パスポートの有効期限にご留意ください）
- ・ 査証（ビザ）申請に必要な書類等に係る費用（写真代）
- ・ 追加保険の加入費用
- ・ その他、上記以外の費用

留意事項

- ・ 新型コロナウイルスの感染拡大が収束し、現地への渡航が可能にならない限り、チームメンバーによる現地調査は実施できません。
- ・ フライトクラスは一律エコノミークラスとします。また、所属先補てん、国内俸、自営者補てん、国内俸等の国内給付、謝金等は支給しません。
- ・ JICAはご所属先または関係機関等への協力依頼書や出張依頼書等を発行しません。業務または研修等の含むとしての参加を希望される場合は、ご自身で所属先との調整を願います。
- ・ 現地視察が中止される可能性があることを、ご承知おき願います。
 - 現地視察参加者が最少催行人員（3名）に達さない場合
 - 新型コロナウイルス等の感染症の流行や現地の治安状況の悪化等、予期せぬ事情により、JICAが現地への渡航が適切でないと判断する場合

以 上